

(別紙様式)

仕 様 書

1.目的

本事業は、SNS や各種サイト、イベント参加を活用した移住希望者への情報発信と PR 活動を通じて関係人口を創出しする。更には、移住希望者の相談対応やお試し移住体験を実施することで移住者数の増加を図り移住後も切れ目なく支援を行うことで安心して移住できる環境を整える。また、移住定住に関する会議及び研修へ参加することで業務実施者のスキルアップを目指し実施者の質の向上を目指すことを目的とする。

2.委託期間

契約締結の日から令和 9 年 3 月 31 日まで

3.業務の内容

(1) 移住希望者の相談業務

- ①移住希望者からの対面、電話、メールでの相談対応
- ②契約期間中又は過年度契約時において相談対応した移住者の移住後（概ね 3 年）のアフターフォロー

(2) 広報・PR に関する業務

- ①町移住サイトにおける内容の更新及び「お仕事図鑑」の整備（5 事業者以上登録）
- ②SNS（Instagram）を利用したの情報発信、生活情報（不安解消）コンテンツの発信
- ③県及び関係団体が主催する移住関連イベントへの参加
- ④移住に関する無料掲載サイト（ワーブシティ、たびすむ）掲載内容の管理
- ⑤移住者向けに働く場の情報提供となるよう、企業の魅力発信

(3) お試し移住体験プログラムの実施

企画から実行までを一貫して実施すること

【設計プログラム数】

3 プログラム以上

【必要要素】

- ①実施する内 1 回以上で移住者交流会を実施すること

移住者交流会の開催要件は以下のとおり

- ・参加者について

町内事業者や町民（定住者）、お試し移住体験プログラム参加者

- ・内容について

町内事業者、町民（定住者）、移住体験者が移住に関することについてグループワークなどで情報交換する機会を設ける

・グループワークのテーマについて

移住検討者の関心・懸念（仕事・収入、住まい、冬の暮らし（除雪）、交通等）を踏まえて設定すること。

- ②滞在期間中に住まい探し（内見調整支援、住まいに関する相談機会の設定）及び就労に関する体験（町内事業者との面談、職場見学、職場体験等）を行う日を設けること
- ③町内事業者との連携により、職場見学・職場体験等の機会創出に努めること

(4) 冬の暮らし体験会の実施

企画から実行までを一貫して実施すること

【設計プログラム数】

1プログラム以上

【必要要素】

- ①最上町の魅力を感じ、冬の暮らしに対する不安を解消できる体験塾を開催すること
- ②体験塾は最上町内を会場にして実施すること

(5) 移住定住に関する研修及び会議等への参加

- ・最上地域移住交流推進協議会
- ・関係団体が主催するイベントに関するもの
- ・その他民間団体を参加対象とする移住定住に関するもの

(6) その他移住定住の推進につながる業務

4.その他

本事業の経費について、以下の項目は町の予算にて支出することとする

- ・移住サイト構築業務委託料（（2）広報・PRに関する業務欄中①町移住サイトにおける内容の更新及び「お仕事図鑑」の整備（5事業者以上登録）に係るシステム構築料）
- ・移住フェア出展料（（2）広報・PRに関する業務欄中③県及び関係団体が主催する移住関連イベントへの参加に係るイベント出展料）
- ・消耗品費（（3）お試し移住体験プログラムの実施、（4）冬の暮らし体験会の実施に係る消耗品費）
- ・関係人口創出事業印刷製本費（（3）お試し移住体験プログラムの実施、（4）冬の暮らし体験会の実施に係る印刷製本費）
- ・関係人口創出事業広告費（（3）お試し移住体験プログラムの実施、（4）冬の暮らし体験会の実施に係る宣伝広告費）
- ・移住体験住宅等使用料（（3）お試し移住体験プログラムの実施、（4）冬の暮らし体験会の実施に係る会場費及び住宅賃借料）
- ・移住定住受入推進補助金（（3）お試し移住体験プログラムの実施、（4）冬の暮らし体験会の実施に係る参加者への交通費及び宿泊費の費用助成）